

かみそNOW

上祖師谷自治会総務部広報委員会 TEL / FAX 03-5315-3646

住んで楽しい、災害に強い、安心安全のまちをめざして、役立つ情報やできごと、お知らせなど、上祖師谷の「いま」をお伝えする地域のしんぶんです。

夏休み子ども会 8月25日(土) 神明社境内



夏休みもあとわずか。神明社境内では子どもたちの暑さを吹き飛ばす元気な声が響いていた。上祖師谷自治会交通部、福祉厚生部、成城警察署等が中心となり自治会各部や社会福祉協議会が協力して開催される夏休みのお楽しみ「夏休み子ども会」。今年も会場の神明社には150組300人ほどの親子が集まった。上祖師谷駐在所道林巡査の交通安全についての紙芝居が終わるとさっそくお目当てのコーナーへ。水ヨーヨーつり、輪投げ、バルーンアート、すいか割り、残りわずかの夏休みを思い思いに楽しんでいる。自治会メンバーも各コーナーで笑顔でお手伝い。交通部の沼宮内部長は「天気が良くてよかったです。自治会皆んなの協力でいい子ども会になりました」と喜んでいました。うれしかったのは子どもたちだけではなかったようだ。

子ども天国 上祖師谷

第18回 祖師谷公園 いっしょのコンサート

10月14日(日) 12時 開店

1時〜4時 コンサート

都立祖師谷公園 親水テラスステージ

主催 * 親水テラス音楽会実行委員会

共催 * 自治会音楽のまちづくりプロジェクト

千歳小 親と子のサマースクール 8月26日(日)



主催者のおやじの会の皆さんは大変だが、子どもたちには待ちに待ったサマースクールだ。日頃学校では出来ないことがここでは体験できる。30名ほどの参加者で始まったサマースクールだったが、超す申込があったという。人気の高さがうかがえる。朝10時午前の部が始まった。染Tシャツ、ピザづくり体験、アクセサリー作り、万華鏡作り、竹細工、水球など、おやじの会のメンバーやPTAのお母さんたちがそれぞれの仕事や趣味を活かして先生になる。先輩の中学生たちもボランティアで手伝っていた。午後1時から午後4時の部がここではカヌー体験も加わった。猛暑の中での開催だったが子どもたちには夏休みの貴重な体験だった。おやじの会の皆さまご苦労様でした。

ぱる児童館 夕涼み縁日 8月25日(土)



今年の冒険の旅は、「太古の世界」だ。クルーズ船に乗って入り口を行くと、様々な太古の生きものが待ち受けている。小学生たちがそれぞれのグループに分かれアイデアを出し制作したと言う。小学生の工作と侮るなかれ、毎年びっくりするほどの完成度だ。地域の皆さんにも是非一度体験していただきたい。

午後4時、児童館工作室横で縁日が始まった。駄菓子屋さん、ポップコーン、わたあめなどのお店も出ている。ヨーヨーつりやゲームコーナーもある。懐かしい縁日の再現だ。千歳小PTAやぱる企画運営委員会、パークウエスト自治会などの皆さんが工夫を凝らして出店した。ぱるで育った中高生も応援に駆けつけていた。



和太鼓ライブ&ワークショップ 7月29日(日) 神明社社務所



「ソノレドンドン」今年も元気な和太鼓の音が神明社から響いてきた。すっかり馴染みになった「太鼓と芝居のたまご座」による「太鼓ライブ&ワークショップ」だ。今回は30名ほどの親子が参加した。本物の大きな太鼓を思いっきりたたいたことはなかなかない。やりたい人、の手にすぐ手が上がる。遠慮がちだったお父さんお母さんも参加したワークショップ。大きな太鼓、小さな太鼓10台での大共演。和太鼓に夢中になった。1時間半だった。

第10回夕涼み会

7月28日(土) 神明社社務所



優勝は小学3年生の絢香ちゃん。ウクレレを演奏しながらの素敵な歌だった。これからが楽しみだね。



台風の影響で素人のど自慢大会のみの開催となった。生演奏で16組の老若男女が自慢ののどを競った。それぞれの応援団も駆けつけて社務所は熱気いっぱい。それにしてもこの界限にかくも芸達者、のど達者がいるとは！

元気はつらつ

【主催】上祖師谷自治会
福利厚生部

自治会が主催する年間を通じたイベント。どなたでも参加できます。お気軽にどうぞ。回覧版、自治会掲示板でお知らせします。
*毎月第2金曜日開催

第4回「落語」・「長唄三味線」

6月8日(金) 神明社社務所

今回は、「元気はつらつ」でも人気の「落語」とあって40名ほどが集まった。出演は軽快な話っぷりで笑いを誘う三崎家桜の輔師匠と長唄三味線の小椋さん。粋な組み合わせとなった。

まずは桜の輔師匠の「人情相撲」。時は江戸、大横綱「谷風」が、大病を患う母親を抱え食うものも食えず土俵に上がる十両筆頭「佐野の山」を見かねて仕組んだ一世一代の八百長相撲の囃。師匠自らも田子ノ浦部屋近くの小岩にお住まいとあって相撲囃にはつい力が入るようだ。



第5回 歴史講座「上祖師谷村」

7月13日(金) 神明社社務所

講師はお馴染み「上祖師谷郷土研究会会長」の高橋光正さん。猛暑の中での講演であったが30名ほどの人が熱心に耳を傾けた。数年前に患った軽い脳梗塞を気にされての講演であったがそこは生まれも育ちも上祖師谷、千歳村から上祖師谷への変遷など、新たにこの地へ移り住んだ私たちにも分かり易く話していただいた。また「田分け」(たわけ者)や「沽券」(沽券にかかわる)など土地に由来する言葉の解説もあり実りある時間となった。帰りには高橋さんの畑の穫れたてトマトをお土産にいただいで解散。



農業体験

地域の親子が対象

「じゃがいもクラブ」「だいこんクラブ」が、種の植付けから収穫まで、年3〜4回土曜日に行っています。
※事前申込み制 ●世田谷区報・募集要項でお知らせします。

収穫だ！

じゃがいもクラブ 6月17日(日)

雨で一日延びたが、今日は大丈夫だ。会場の吉岡農園には24組70人ほどの親子が集まった。土をほじると小さきまぎまぎじゃがいもがごろごろと顔を出す。子どもたちには新鮮な体験だ。上祖師谷2丁目からお父さんと参加したゆなちゃん(3才)も元気にお手伝い。スーパリーの売り場しか思い浮かばない都会育ちの大人にとっても初めての体験かもしれない。

収穫後は地区青少年委員の皆さんによる「とれたて野菜のカレー」を頂いた。お腹もころも大満足のじゃがいも収穫だった。主催した地区青少年委員やまちづくりセンターの皆さんお疲れさまでした。



大きく育て！

だいこんクラブ種まき 9月16日(日)

「楽しい」。小さな種を先生役の吉岡秀樹さんの指示通り畑に埋めながら男の子がつぶやいた。「一緒に参加したお母さんも「初めての体験なので」と、こちらも楽しそうだ。

主催者の地区青少年委員の内藤会長は「収穫だけと言うのは他でもあるようですが、種まきからと言うのは珍しいようです」と胸を張った。様々な人の協力で実現している農業体験だが、これも上祖師谷に住んでいる喜びのひとつ。10月の間引き、そして11月に収穫を迎える。



消防団 夜間訓練

午後7時30分、早川分団長以下消防団第7分団員(上祖師谷地域)が都立祖師谷公園に集合した。各自仕事を終えてからの夜間訓練である。例年の訓練は成城消防団7つの分団が参加する「成城消防団可搬ポンプ操法大会」にむけてのものだが、地域に、もしものことがあったときは必ず力になる。ポンプを操作したり、ホースを運ぶ時のきびきびした動作、放水時の確かな動きは、一刻を争う時の素早い消火につながる。



そろそろ訓練も終わりに思った矢先、団員から「もう一本」の声が飛んだ。このやる気が地域を守る。地域のみならず応援したい。



安心安全のまちへ

防災防火部 D型ポンプ操法訓練

訓練には消防団も協力、ホースの巻取りや照明など裏方を担った。防災防火部と消防団との連携は地域住民としても力強い。



D型ポンプ操法発表会を2日後に控えた8月31日(金)夜7時、仕事を終えた防災防火部のほぼ全員が都立祖師谷公園に集まった。訓練の総仕上げだ。地震による火災の発生を想定。いかにチームワークよく無駄のない動きで消火に至るか

※可搬式の小型消火ポンプ



「ゴミ0デー」に参加しよう!
9月9日(日)
自治会福祉厚生部



この日は仙川を挟んで西と東に分かれ道路や空き地に捨てられたゴミを回収する。東地区では午前9時自治会事務所前に20人ほどが集まった。毎回、上祖師谷4丁目の富士ガスの方たちにも参加いただいている。こんなカタチで地域がつながるのは嬉しいことだ。

今回の特徴は、タバコの吸い殻が減少、その代わり空き缶が増加したことだ。この夏の猛暑が原因だろうか?ゴミにも世相が表れていて面白い。とは言え空き缶ももちろん決められた場所に捨てて欲しい。



お知らせ

● 神明社大祭 10月6日(土) 10月7日(日)

● 祖師谷公園いこいのコンサート 10月14日(日)

● 都立祖師谷公園 親水テラスステージ ★詳しくは新聞折り込み、自治会掲示板、回覧板等のチラシをご覧ください。

編集後記

猛烈な台風に大地震。列島に何が起きているのか。人ごととは思えない。防災訓練など積極的な参加が望まれる。(o.y)

30度超えが当たり前のような酷暑でしたけど、子どもたちは楽しい夏休みだったかな。(w)